

1 実施目的

職員に市政全般に関する創意工夫の提案及び改善を奨励することにより、職員の意識改革及び組織の活性化を図り、市民サービスの向上と効率的・効果的な自治体経営に寄与することを目的とします。

2 提案の応募状況

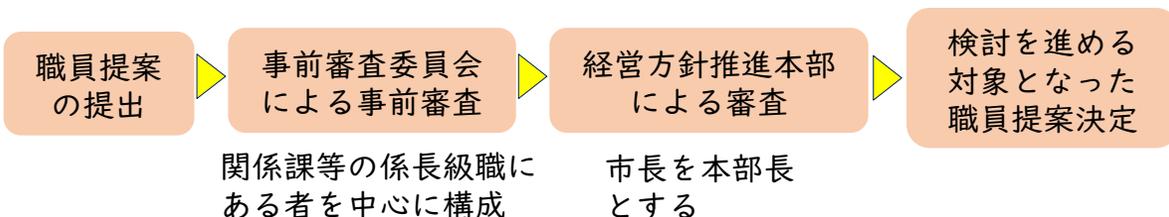
【募集期間】 5月22日～6月30日

【応募件数】 21件（単独20件、共同1件）

【提案区分の内訳】 ※提案者による複数選択

- | | |
|-----------------------|----|
| (1) 市民サービスの向上に関するもの | 5件 |
| (2) 市の活性化、まちづくりに関するもの | 2件 |
| (3) 事務改善に関するもの | 8件 |
| (4) 経費削減又は収入の確保に関するもの | 8件 |
| (5) 組織の活性化に関するもの | 8件 |
| (6) その他自治体経営方針に関するもの | 5件 |

■職員提案に対する審査の流れ



3 検討を進める対象となった職員提案

審査の結果、次の6件の提案について、検討を進める対象として採用しました（うち2件は趣旨採用）。以下、各提案を主な提案区分により分類し、その概要をまとめました。

採用された内容に基づき、関係課において実現に向けた検討・取組を行います。

事務改善に関するもの

◆全庁的な実務マニュアルの整備【趣旨採用】

《提案概要》現行の異動引継書は、やるべきことの列挙にとどまり、具体的な処理方法が示されていないことが多々ある。担当業務に必要な実務マニュアル（業務に応じて、年間スケジュール表、手順書、チェックリスト、フローチャート等が想定される）の整備に全庁的に取り組み、スムーズな引継ぎや業務の効率化を目指す。

《主な評価ポイント》

- ・既存の事務引継書を見直し、新規職員でも異動職員でも使える読み物のようなものを作成する必要がある。
 - ・テンプレートを作成したとしても、形骸化する可能性はある。
- ※書式整備以外の啓発等の取組も併せて必要と考えられるため、趣旨採用とした。

《関係課における当面の取組の方向性》

提案趣旨を踏まえた取組の実施に向けて検討を進める。

◆工事費情報公開請求事務の合理化

《提案概要》請求がある都度、紙を印刷して対応している工事費（内訳書等）の情報公開について、市のホームページ等にあらかじめ公開することで請求者及び情報提供者（市）双方の負担を軽減する。

《主な評価ポイント》

- ・紙の削減、作業の削減ともに効果的であると思う。
- ・公開方法等について考慮する必要があるが、情報公開請求者及び担当課の負担を考えると期待される効果は大きいと思う。

《関係課における当面の取組の方向性》

取り組み方を精査のうえ実施に向けて検討を進める。

◆給与明細電子化

《提案概要》給与明細を電子化する。

《主な評価ポイント》

- ・全職員の同意の可否をとらなければならないが、実現すれば紙の削減等効果的な取組となる。
- ・電子化する予算、紙媒体か電子かの職員への確認等が必要であり、また、会計年度任用職員等については引き続き紙媒体にはなり各課庶務担当者の負担は変わらないかもしれないが、紙である必要はないと思う。

《関係課における当面の取組の方向性》

必要となる調整について整理し、効果的な取り組み方を検討する。

組織の活性化に関するもの

◆奨励資格制度の制定及び受験料補助の実施

《提案概要》市職員のスキルアップにつながる手段として、奨励資格を設定し、取得に要する経費（一部又は全部）を助成する。

《主な評価ポイント》

- ・技術系業務のほか、事務系業務においても専門人材のニーズが高くなっていることなどから、有効な制度となりうる。
- ・職員のモチベーションアップにもつながり着想は良いと思う。ただし、実現に向けてはどの資格を補助対象とするのか、上限額の設定など、現状の通信教育制度の在り方の見直しも含めた研究が必要になる。

《関係課における当面の取組の方向性》

効果的な取り組み方を検討する。

◆男性育児休業取得率の向上

《提案概要》小平市特定事業主行動計画の実施内容となっている男性育児休業の取得促進を確実に実行していくための仕組づくりをし、全庁的に取り組む。

《主な評価ポイント》

- ・出産直前や出産後に情報提供があったとしても計画的な育児休暇につなげることは難しいため、対象となる職員からは事前に「出産予定であること」の情報提供が必要。そのためには職員が所属の管理職に相談しやすい風土が大前提となる。フォローシートの活用のみではなく、管理職の意識醸成が最も重要。
- ・男性育児休業取得のきっかけを増やすことは良いと思う。また、育児休業になじみがない人でも分かりやすくなるのではないかと。

《関係課における当面の取組の方向性》

実施に向けて検討を進める。令和5年度から実施。

◆アシスタント職の各課採用履歴のデータ化【趣旨採用】

《提案概要》会計年度任用職員アシスタント職の各課採用履歴をデータ化し、新たにアシスタント職の採用を検討する際の一助とする。

《主な評価ポイント》

- ・全職員が見られるようにする必要は無いので、必要な職員が必要な時に見られるものがあれば、アシスタント職採用時の手間、ストレスを縮減することができる。
 - ・利便性は高まりそうだがデータ管理については検討が必要。
- ※情報管理上の課題整理が必要と考えられるため、趣旨採用とした。

《関係課における当面の取組の方向性》

提案趣旨を踏まえ、効果的な取り組み方を検討する。